

第42期 報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

NIPPON STEEL TRADING CORPORATION



日鉄物産

証券コード：9810

企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。

経営方針

1. 日本製鉄グループの中核商社として四事業分野の強化と拡充
2. グローバル戦略の加速
3. 複合専門商社としての総合力の発揮
4. コンプライアンスの徹底

株主の皆様へ

ご挨拶

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は、本年4月より、新たな日本製鉄グループの中核商社として、そのグループの一員であることを明確にするとともに、海外のお客様にもわかりやすい名称とするため、商号を「日鉄物産株式会社」、英文名称を「NIPPON STEEL TRADING CORPORATION」と変更し新たなスタートを切りました。

「鉄鋼」「産機・インフラ」「繊維」「食糧」という四つの事業を営む複合専門商社として、企業価値の拡大を加速させ、お客様と社会に更に貢献できるエクセレントカンパニーを目指してまいります。

なお、当期末配当金につきましては、通期で前期比10円の増配となる1株につき110円（通期では、先に実施しました中間配当110円とあわせて220円）とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



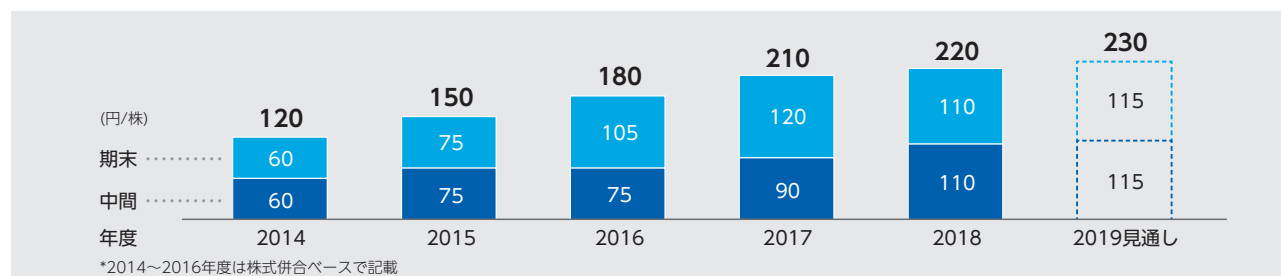
代表取締役社長

佐伯 康光

全社業績の概要

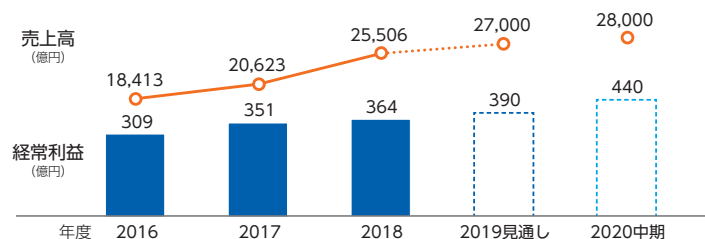
| | 当期 (2019年3月期) | 前期 (2018年3月期) | 増減 |
|-----------------|------------------|------------------|---------------|
| 売上高 | 2兆5,506億円 | 2兆623億円 | + 24% 4,882億円 |
| 経常利益 | 364億円 | 351億円 | + 4% 12億円 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 232億円 | 217億円 | + 7% 15億円 |

当社配当の推移



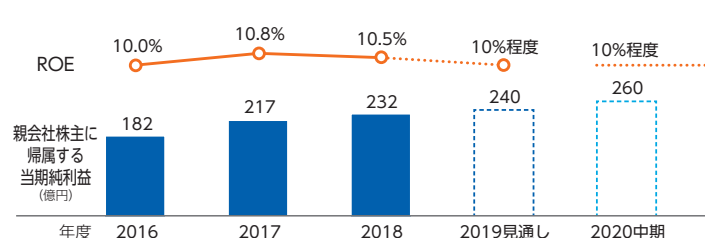
財務ハイライト

売上高／経常利益



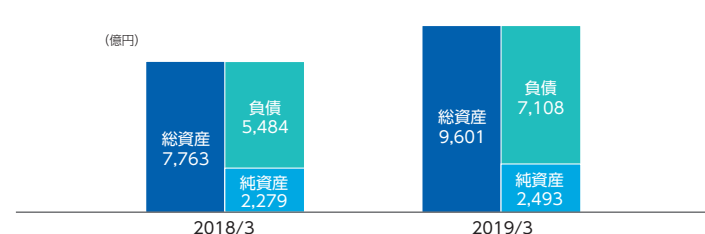
- 当期の売上高は鋼材販売単価の上昇や鋼材販売数量の増加等により、2兆5,506億円（前期比24%増）と大幅な増収となりました。
- 経常利益は364億円（前期比4%増）と過去最高益を記録しました。

ROE／親会社株主に帰属する当期純利益



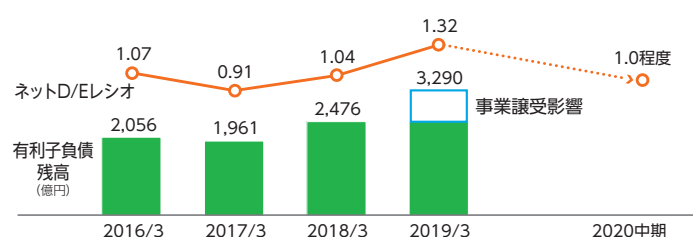
- 親会社株主に帰属する当期純利益も、232億円（前期比7%増）と過去最高益になりました。
- ROEにつきましては10.5%と順調に推移しております。

連結貸借対照表



- 総資産は、三井物産グループからの事業譲受に伴う鋼材取扱数量の増加と鋼材単価上昇の影響を受けた売掛金の増加等により、前期末比1,837億円の増加となる9,601億円となりました。

ネットD/Eレシオ／有利子負債残高

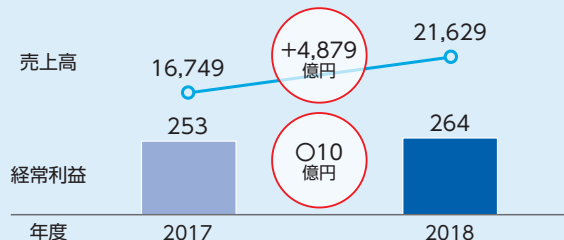


- 当期末の有利子負債は、3,290億円となり、ネットD/Eレシオは1.32倍となりましたが、これは鉄鋼事業における事業拡大に伴う一時的な悪化であります。

セグメント別の業績

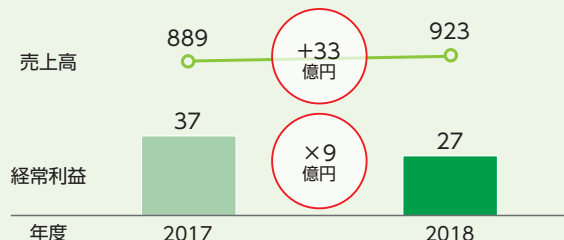
○ 鉄 鋼

- 内外鋼材需要は概ね堅調に推移し、売上高は+4,879億円と大幅増収となりました。
- 経常利益は前期と当期の特殊要因を三井物産グループからの事業譲受効果と価格改善等によりカバーし、前期比○10億円の264億円となりました。



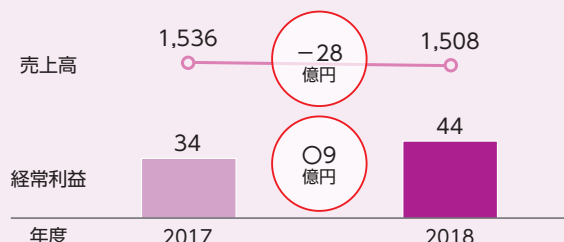
○ 産機・インフラ

- 売上高はアルミの取扱量増等により33億円の増収となりました。
- 前期のタイ持分法適用会社における一過性利益の剥落等により、経常利益は前期比×9億円の27億円となりました。



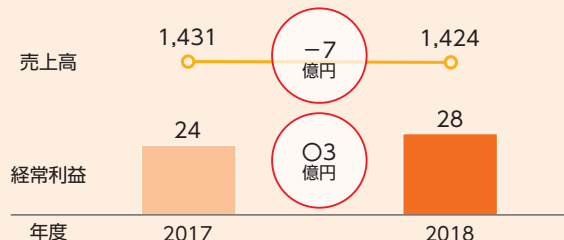
○ 織 維

- 厳しい経営環境は継続し、売上高は28億円の減収となりました。
- ロスの改善等により、経常利益は前期比○9億円の44億円となりました。



○ 食 糧

- 食肉価格は全体としては安定的に推移し、売上高はほぼ横ばいとなりました。
- チキンの利益率の回復もあり、経常利益は、前期比○3億円の28億円となりました。



鉄鋼

日本鐵板株式会社の子会社化

建材薄板分野を主力とする日本鐵板株式会社の株式を取得し、子会社化いたしました。

メーカーから流通・加工に至る建材薄板バリューチェーンを強化してまいります。



つくばエクスプレス・みらい平駅に使用されたフッ素GL鋼板

鉄鋼

ベトナム建材大手への出資

成長著しいベトナムにおける鉄鋼建材市場の需要捕捉及びベトナム鉄骨事業への進出を目的として、現地建材大手であるQH PLUS CORPORATIONに出資いたしました。

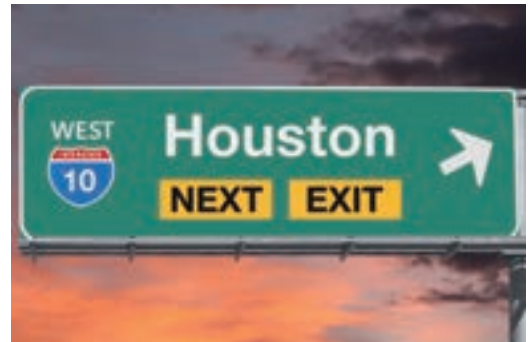


QH PLUS社の鉄骨が使用されたベトナム最高層タワー

鉄鋼

米国新コイルセンターの設立

輸入材から米国材へのシフトが進行する米国薄板市場の需要捕捉及び更なる需要の伸びが見込まれる米国南部への進出を目的としてヒューストンに新コイルセンターの建設を決定しました。



産機・
インフラ

厨房自動化機器の拡販

外食産業の省力化ニーズに対応した業務用厨房自動化機器の販売が好調に推移しております。

今後は、日本食ブームの続く海外需要の捕捉にも注力してまいります。



繊維

株式会社SYMBOLへの出資

SYMBOL社は、アパレル及びフィットネス産業向けの3Dスキャニングや人体・体型のサイジングデータベースの開発などに強みを持つ会社です。同社とのIT技術と当社のアパレル産業ノウハウの融合により、新たなサプライチェーンモデルを構築してまいります。



繊維

インドにおける高発色性綿花の共同開発開始

染色工程を省略可能な綿花の実用化を目的に、インド・パンジャブ州立農業大学と、赤や黄色など従来にない発色性の高い実をつける綿花の共同研究開始について合意いたしました。



食糧

“キャプテン・ビーフ”の拡販

肥沃なコーンベルト地帯の中心に位置し、理想的な環境で肥育される米国ネブラスカ州産の牛肉を「キャプテン・ビーフ」としてブランド化したキャンペーンを展開し、拡販に注力しています。



4事業の成長を加速させ、 グローバルに展開するエクセレントカンパニーへ

はじめる。 日鉄物産

二〇一九年四月、日鉄住金物産は、日鉄物産に変わりました。
変わったのは、社名だけではありません。

私たちは変わります。「鉄鋼」「産機・インフラ」「繊維」「食糧」という
四つの領域でそれぞれの道を極めるプロ達の情熱や個性がもっと輝き、

咲き誇る商社へ。

そしてその輝きを一つに重ねあわせ、まだ誰も出会ったことのない価値を、

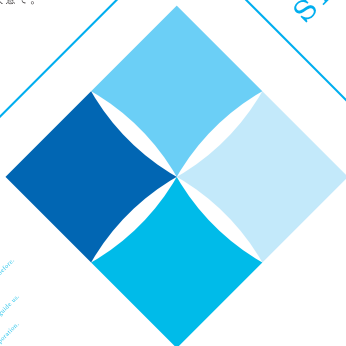
世界中で次々と生み出していきたい。そう思うのです。

ゴールもレールもない、商社の未踏を拓き続けるという決意で、

改めて、はじめまして。私たちは日鉄物産です。

道なき
四つの未知を
いけ。

In April 2019, Nippon Steel & Sumitomo Metal Corporation
changed its name to Nippon Steel Trading Corporation.
We are not just a name change. We are a new chapter in our history.
We are a company of professionals who are passionate about their work.
We are a company that is committed to providing the best products and services to our customers.
We are a company that is committed to creating a better future for all.



日鉄物産

日鉄住金物産は、日鉄物産へ。

NIPPON STEEL
TRADING
START!

当社は、今回の商号変更の機会に、当社を一言で表現した企業キャッチフレーズとロゴマークを新たに策定しました。

「鉄鋼」「産機・インフラ」「繊維」「食糧」の四つの事業領域及び「成長」「信頼」「ボーダーレス」「挑戦」の四つの社員行動指針を、「道なき四つの未知をいけ。」という言葉と、先進性／知性を表すブルーを基調とした4色のロゴで表現しました。

本キャッチフレーズとロゴマークのもと、全社一丸となって、社会と顧客に更に貢献するエクセレントカンパニーを目指してまいります。

企業キャッチフレーズ

「道なき四つの未知をいけ。」

企業ロゴマーク



日鉄物産

女性活躍社会への取り組み

日鉄物産は、「人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります」という企業理念のもと、多様な人材がイキイキと活躍することを目指しています。その中のひとつとして、女性社員が各職場で管理職・リーダーとして活躍しやすい雇用環境の整備を行うため、以下の行動計画を策定しています。

今回は、女性活躍のための取り組み内容をご紹介します。

女性活躍のための行動計画

新卒採用（総合職）において、
女性比率を30%にする

34%達成
(2019.4時点)

2019年4月入社の新卒総合職に占める女性比率は34%であり、目標水準を達成しております。

女性の配属の少ない部署に
積極的に配属する

**2018年度からは各事業本部に
新卒の女性総合職を配属**

人材育成の観点も踏まえながら、女性の配属の少ない部署から積極的に配属しております。

今後も女性の活躍推進に力を入れ、働きやすい職場、働きがいのある仕事を創出していきます。

Topics

認定を取得しました

えるぼし

2018年6月、女性活躍推進企業として「えるぼし」認定を受けました。

「えるぼし」とは

2016年4月施行の「女性活躍推進法」に基づく認定制度で、女性が職業生活において活躍するための行動計画を策定し、取り組み状況などが優良な企業を厚生労働大臣が認定するマークです。



くるみん

2018年9月、子育てサポート企業として「くるみん」認定を受けました。

「くるみん」とは

2005年4月施行の「次世代育成支援対策推進法」に基づいた子育て支援のための行動計画（一般事業主行動計画）を策定し、その取り組み実績が認められた事業主に発行されるマークです。



会社概要／株式情報

会社情報 (2019年3月31日現在)

| | |
|------|---|
| 本店 | 東京都港区赤坂八丁目5番27号 |
| 資本金 | 16,389,059,776円 |
| 事業内容 | 鉄鋼、産機・インフラ、繊維、食糧 その他の商品の販売及び輸出入業 |
| 従業員数 | 1,708名 (注) 従業員数は就業人員であり、国内及び海外出向者 361名を含めた従業員数は2,069名であります。 |

ホームページURL <https://www.nst.nipponsteel.com>
(2019年4月1日現在)

取締役・監査役 (2019年6月27日現在)

| | |
|-----------|-------|
| 代表取締役社長 | 佐伯康光 |
| 取締役 | 宮本常夫 |
| 取締役 | 竹内豊 |
| 取締役 | 野村有一 |
| 取締役 | 中村英一 |
| 取締役 | 杉口安弘 |
| 取締役 | 富岡靖之 |
| 取締役 | 嶋田俊治 |
| 取締役 | 遠近政則 |
| 取締役* | 小倉良弘 |
| 取締役* | 木下啓史郎 |
| 取締役* | 井上龍子 |
| 常任監査役(常勤) | 前田真吾 |
| 監査役(常勤) | 南谷忠義 |
| 監査役*** | 杉本茂次 |
| 監査役*** | 津加宏 |

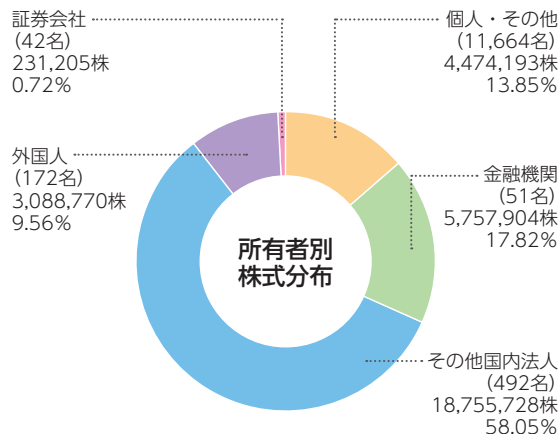
(注)*は、社外取締役を示しております。
***は、社外監査役を示しております。

株式の情報 (2019年3月31日現在)

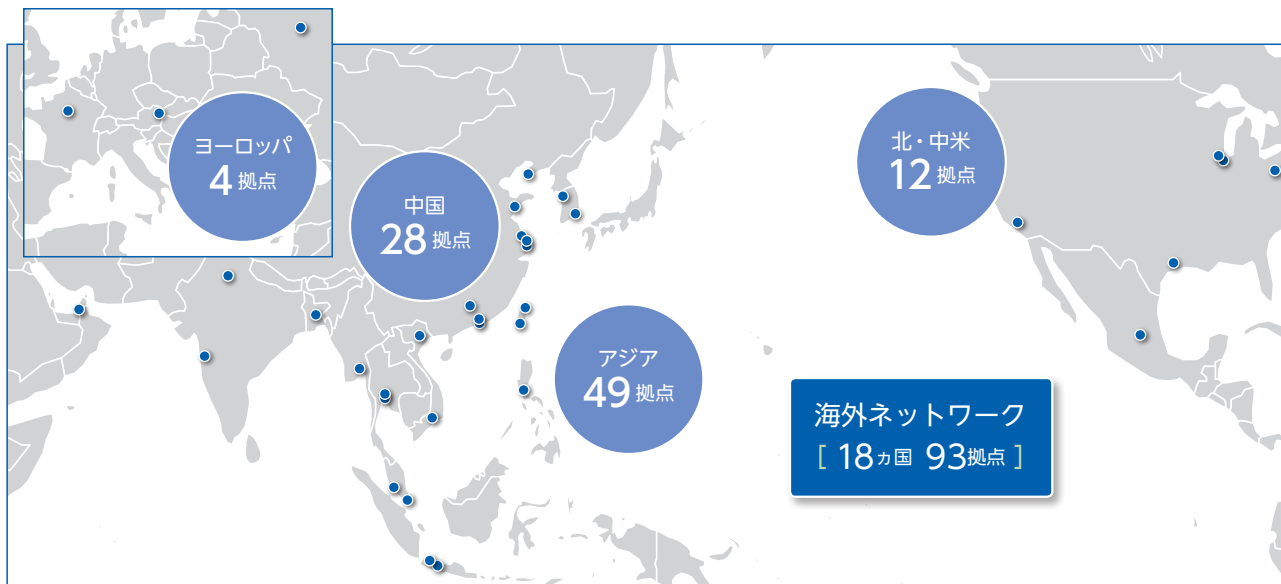
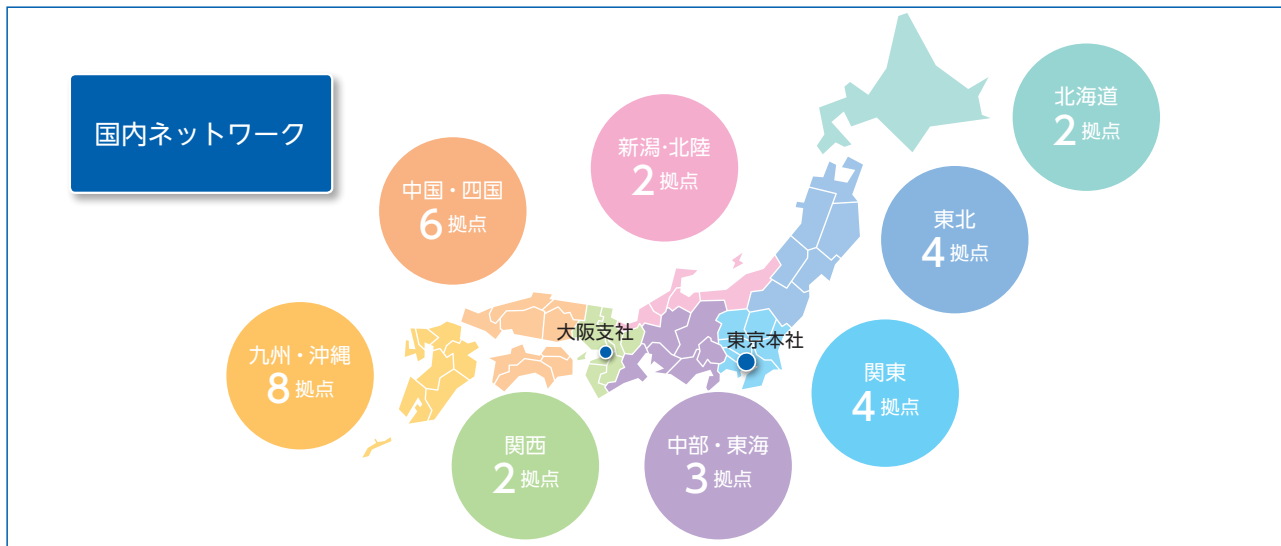
| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 50,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 32,307,800株 |
| 株主数 | 12,421名 |
| 大株主 | |

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|------------------------------------|---------|---------|
| 新日鐵住金株式会社 | 11,141 | 34.53 |
| 三井物産株式会社 | 6,428 | 19.93 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,563 | 4.85 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,492 | 4.62 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 427 | 1.33 |
| 日鉄住金物産従業員持株会 | 398 | 1.24 |
| DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 345 | 1.07 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 278 | 0.86 |
| JP MORGAN CHASE BANK 385151 | 249 | 0.77 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) | 242 | 0.75 |

(注)1. 持株比率は、自己株式(45,982株)を控除して計算しております。
(注)2. 新日鐵住金株式会社は、2019年4月1日付で日本製鉄株式会社に商号変更しております。
(注)3. 日鉄住金物産従業員持株会は、2019年4月1日付で日鉄物産従業員持株会に名称変更しております。



国内外拠点 (2019年3月31日現在)



ホームページのご案内

当社ホームページでは、会社情報や事業紹介といった基本情報をはじめ、株主・投資家情報やサステナビリティなどの情報も公開しております。ぜひご覧ください。

日鉄物産

検索

<https://www.nst.nipponsteel.com>



← トップページ

▼ IRページ



株主メモ

| | |
|-----------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 基準日 | 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 |
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) |
| | フリーダイヤル 0120-782-031 (電話照会先) |
| | https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html (照会先URL) |
| 公告方法 | 電子公告の方法により、当社ウェブサイトにて行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 市場第一部 |

株式に関する住所変更等の届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等の届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等の届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載された将来の予測等は、開示の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

日鉄物産株式会社

〒107-8527 東京都港区赤坂八丁目5番27号

TEL:03-5412-5001(代表)

ホームページURL: <https://www.nst.nipponsteel.com>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に優しい「植物油インキ」を使用しています。